

step 3

予想理論を作ろう

収録された予想理論で予想するだけでは、競馬道GT3はもったいない。ぜひ自分で予想理論を作成してみましょう。予想理論項目は130以上。いろいろな組み合わせでオリジナルの最強理論がきっとできるはずです。

予想項目の説明

競馬道GT3で予想理論を作成する際には、132種類の予想項目が使用できます。各予想項目の内容は次の通りです。

競走馬

斤量評価	出走馬の登録斤量によるタイム評価
着順評価	出走馬の指定レース数の着順評価
競走馬競馬場実績	出走馬の当該競馬場での実績
距離適性	出走馬の指定距離での着順評価
競走馬連対率	過去の全レースの連対率評価
競走馬勝率	過去の全レースの評価
競走馬距離連対率	過去の全レースの指定距離範囲での連対率評価
競走馬距離勝率	過去の全レースの指定距離範囲での勝率評価
競走馬馬場適性	推定馬場での実績
競走馬コース適性	出走馬の芝もしくはダート実績
血統(種牡馬総合実績)	指定期間の産駒の着順評価
枠順実績	出走馬の当該レースの枠順(内、中、外)での実績評価
頭数実績	出走馬の当該レースの頭数(少頭数、中頭数、多頭数)での実績評価
競走馬格評価	出走馬の格の評価
競走馬季節実績	出走馬の当該レースの季節(春、夏、秋、冬)での実績評価
競走馬騎手実績	出走馬の当該レースの騎手の実績評価
競走馬3着内率	過去の全レースの3着内率評価
競走馬距離3着内率	過去の全レースの指定距離範囲での3着内率評価
競走馬実績	該当馬の実績評価(1着数)
競走馬実績(新)	実績評価(着順平均)
競走馬開催実績	競走馬の指定開催での実績評価
競走馬開催実績(新)	競走馬の指定開催での実績評価(着順平均)
競走馬レース実績	指定距離範囲の同コースでの1、2、3着評価
競走馬レース実績(新)	指定距離範囲の同競馬場・同コースでの実績評価(着順平均)
競走馬コース実績	該当競馬場・コースでの競走馬の勝率
競走馬コース実績(新)	該当競馬場・コースでの競走馬の実績評価(着順平均)
競走馬コース勝率	該当コースでの競走馬の勝率評価
競走馬コース連対率	該当コースでの競走馬の連対率評価
競走馬コース3着内率	該当コースでの競走馬の3着内率評価
穴馬期待度	競走馬の穴馬期待度
競走馬2着率	過去の全レースの2着率評価
競走馬距離2着率	過去の全レースの指定距離範囲での2着率評価
競走馬3着率	過去の全レースの3着率評価
競走馬距離3着率	過去の全レースの指定距離範囲での3着率評価
直結指数	出走馬の直結指数評価(指数は2005年1月23日までのデータ)
競走馬クラス勝率	同クラスレースの勝率評価
競走馬クラス連対率	同クラスレースの連対率評価
競走馬クラス3着内率	同クラスレースの3着内率評価
展開指数	出走馬の展開指数評価(1995年1月1日~2004年12月31日のデータ)
競馬道指数	いわゆる「指数」のことで、各馬の走破タイムを比較するものです。

騎手

騎手実績	指定期間の関東・関西総合の評価(1着数)
騎手実績(新)	指定期間の関東・関西総合の評価(着順平均)
騎手連対率	指定期間の連対率評価
騎手勝率	指定期間の勝率評価
騎手距離連対率	指定期間の指定距離範囲での連対率評価
騎手距離勝率	指定期間の指定距離範囲での勝率評価
騎手レース実績	指定期間、指定距離範囲の該当競馬場およびコースでの1着評価
騎手レース実績(新)	指定期間、指定距離範囲の該当競馬場およびコースでの実績評価(着順平均)
騎手3着内率	指定期間の3着内率評価
騎手距離3着内率	指定期間の指定距離範囲での3着内率評価
騎手季節実績	騎手の当該レースの季節(春、夏、秋、冬)での実績評価
騎手開催実績	騎手の指定開催での着順評価
騎手開催実績(新)	騎手の指定開催での実績評価(着順平均)
騎手枠順実績	騎手の当該レースの枠順(内、中、外)での実績評価
騎手頭数実績	騎手の当該レースの頭数(少頭数、中頭数、多頭数)での実績評価
騎手競馬場実績	騎手の当該競馬場での実績(同競馬場での着順平均を評価)
騎手馬場適性	騎手の推定馬場での実績
騎手距離適性	騎手の指定距離での着順評価
騎手着順評価	騎手の指定レース数の着順評価
騎手トレーナー実績	騎手の当該レースのトレーナーの実績評価
騎手トレーナー実績(新)	騎手の当該レースのトレーナーの実績評価(着順平均)
騎手コース実績	指定期間の当該競馬場とコースでの騎手の勝率
騎手コース実績(新)	指定期間の当該競馬場・コースでの騎手の実績評価(着順平均)
騎手コース適性	騎手の芝もしくはダート実績
騎手コース勝率	指定期間の当該競馬場とコースでの騎手の勝率評価
騎手コース連対率	指定期間の当該競馬場とコースでの騎手の連対率評価
騎手コース3着内率	指定期間の当該競馬場とコースでの騎手の3着内率評価
騎手2着率	指定期間の2着率評価
騎手距離2着率	指定期間の指定距離範囲での2着率評価
騎手3着率	指定期間の3着率評価
騎手距離3着率	指定期間の指定距離範囲での3着率評価
騎手クラス実績	指定期間の同クラスレースにおける関東・関西総合の評価(1着数)
騎手クラス実績(新)	指定期間の同クラスレースにおける関東・関西総合の評価(着順平均)
騎手クラス連対率	指定期間・同クラスレースの連対率評価
騎手クラス勝率	指定期間・同クラスレースの勝率評価
騎手クラス3着内率	指定期間・同クラスレースの3着内率評価
騎手クラス2着率	指定期間・同クラスレースの2着率評価
騎手クラス3着率	指定期間・同クラスレースの3着率評価

データの引き継ぎと
インストール

予想してみよう

予想理論を作ろう

的中率・回収率を
確かめよう

IPAT
対応機能について

検索機能を活用しよう



競馬道指数とは

競馬道Pro5まで搭載されていた「指数」を予想理論項目として復活させたものです。「指数」とは、各馬の走破タイムに馬場状態やペースなどに応じた補正を加えることで距離などの違いを超えて走破タイムを直接比較できるようにするものです。評価方法としては(ケイバブックの推

定タイムー走破タイム)を基本としており、この結果に独自の手法で馬場補正、ペース補正、距離補正、斤量補正を行って表示しています。競走馬の能力を測るひとつの目安として、ご使用ください。

厩舎

トレーナー連対率	指定期間の連対率評価
トレーナー実績	指定期間の関東・関西総合の評価
トレーナー3着内率	指定期間の3着内率評価
トレーナー勝率	指定期間の勝率評価
トレーナー季節実績	トレーナーの当該レースの季節(春、夏、秋、冬)での実績評価
トレーナー開催実績	トレーナーの指定開催での着順評価
トレーナー開催実績(新)	トレーナーの指定開催での実績評価(着順平均)
トレーナーレース実績	指定期間、指定距離範囲の当該競馬場およびコースでの1、2、3着評価
トレーナーレース実績(新)	指定期間、指定距離範囲の当該競馬場およびコースでの実績評価(着順平均)
トレーナー距離実績	指定期間の指定距離範囲でのトレーナーの勝率
トレーナー距離実績(新)	指定期間の指定距離範囲でのトレーナーの実績(着順平均)
トレーナー競馬場実績	トレーナーの当該競馬場での実績評価
トレーナー距離適性	トレーナーの指定距離での着順評価
トレーナーコース実績	指定期間の当該競馬場とコースでのトレーナーの勝率
トレーナーコース実績(新)	指定期間の当該競馬場・コースでのトレーナーの実績評価(着順平均)
トレーナー2着率	指定期間の2着率評価
トレーナー3着率	指定期間の3着率評価
トレーナークラス実績	指定期間の同クラスレースにおける関東・関西総合の評価(1着数)
トレーナークラス実績(新)	指定期間の同クラスレースにおける関東・関西総合の評価(着順平均)
トレーナークラス連対率	指定期間・同クラスレースの連対率評価
トレーナークラス勝率	指定期間・同クラスレースの勝率評価
トレーナークラス3着内率	指定期間・同クラスレースの3着内率評価
トレーナークラス2着率	指定期間・同クラスレースの2着率評価
トレーナークラス3着率	指定期間・同クラスレースの3着率評価

step3

予想理論を作ろう

種牡馬

種牡馬距離実績	指定期間の指定距離範囲での産駒の勝率
種牡馬距離実績(新)	指定期間の指定距離範囲での産駒の実績評価(着順平均)
種牡馬コース実績	指定期間の同競馬場・同コースでの産駒の勝率
種牡馬コース実績(新)	指定期間の同競馬場・同コースでの産駒の実績評価(着順平均)
種牡馬季節実績	種牡馬産駒の当該レースの季節(春、夏、秋、冬)での実績評価
種牡馬開催実績	種牡馬産駒の指定開催での1、2、3着評価
種牡馬開催実績(新)	種牡馬産駒の指定開催での実績評価(着順平均)
種牡馬レース実績	指定期間、指定距離範囲の同競馬場・同コースでの1、2、3着評価
種牡馬レース実績(新)	指定期間、指定距離範囲の同競馬場・同コースでの実績評価(着順平均)
種牡馬競馬場実績	種牡馬の当該競馬場での実績評価
種牡馬距離適性	種牡馬の指定距離での着順評価
種牡馬馬場適性	設定された馬場状態における産駒の着順評価
種牡馬コース適性	産駒の芝もしくはダートでの着順評価
種牡馬クラス勝率	同クラスレースにおける産駒の勝率評価
種牡馬クラス連対率	同クラスレースにおける産駒の連対率評価
種牡馬クラス3着内率	同クラスレースにおける産駒の3着内率評価

タイム

平均タイム	出走馬の同距離でのタイム評価
最高タイム	出走馬の同距離での最高タイム評価
前半 3F	出走馬の指定距離での前半 3 ハロンタイム評価
上がり 3F	出走馬の指定距離での上がり 3 ハロンタイム評価
着差タイム	出走馬の指定距離での着差タイム評価

競馬ブックデータ

レコード指数	出走馬の指定レース数のレコード指数平均
予想印	当該レースの予想印の評価
予想オッズ	当該レースの予想オッズの評価
調教印	当該レースの各出走馬の調教印の評価
レーティング	出走馬の該当レースでのレーティングの評価

人気・オッズ

人気評価	出走馬の指定レース数の人気評価
オッズ評価	出走馬の指定距離範囲の指定レース数 オッズ平均
コース出目	指定期間の当該競馬場およびコースでの馬番別 1、2、3 着評価
ユーザ予想印	ユーザの予想印



共通に使われる用語

共通に使われる用語の詳細な内容については、以下を参考にしてください。

- 実績：着順平均
 勝率評価：1 着数 ÷ 出走数
 連対率評価：(1 着数 + 2 着数) ÷ 出走数
 3 着内率評価：(1 着数 + 2 着数 + 3 着数) ÷ 出走数
 2 着率評価：2 着数 ÷ 出走数
 3 着率評価：3 着数 ÷ 出走数
 着順評価：(出走頭数 ÷ 着順) の平均
 同コース：芝・ダート・障害別のコースを指します。
 馬場：馬場状態(良・稍重・重・不良)を指します。

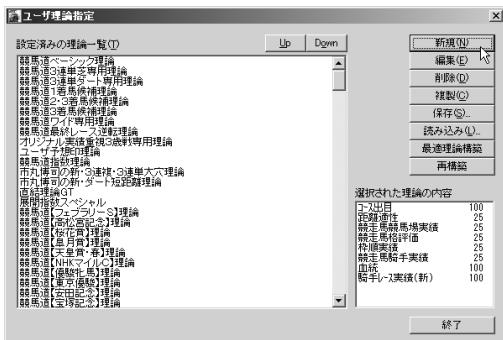
オリジナル予想理論を作る

競馬道GT3では、収録済みの予想理論を利用するだけでなく、ユーザがオリジナルの予想理論を作成できます。最大10個の予想項目を組み合わせられ、それぞれのウエイト(重視度)も調整することができます。

新規理論の作成と予想項目の設定

1 オリジナルの予想理論の作成は、メインメニューの[予想]から[ユーザ理論の設定]で行ないます。既に設定されている理論の一覧が表示されますので、ここでは[新規]をクリックします。

また、新たに理論を作成するのではなく、既に設定されている理論をもとに予想をアレンジすることもできます。詳しくは次ページの「アドバイス」をご覧ください。



step3
予想理論を作る

2 新規のユーザ理論作成画面です。まず、新しく作る理論の名称を決定します。この画面を開いた直後は、画面左上に「新規理論1」という仮の理論の名称が入力されていますので、作成したい理論の名称に書き換えてください。理論の名称は全角30文字まで入力できます。



3 理論の名称を決定したら、予想項目の設定に入ります。まず、10項目ある予想項目の左端にあるボックスをチェックします。するとその右側にある[▼]のついたプルダウンメニューが操作可能な状態になりますので、予想理論に使う項目を選択します。

項目を選択すると、画面左下のボックスに、その項目についての説明が表示されますので、参考にしてください。



4 続いて、予想項目のウエイト(重視度)を設定します。予想項目は最大で10項目設定できますが、このウエイトを調整することによって、それぞれの項目を予想に反映する割合を決めることができます。

ウエイトの設定は、項目の右にある調整バーをマウスで左右にスライドさせるか、その隣にある数値ボックスに直接数値を入力します。



収録理論をアレンジする

競馬道GT3の予想理論で利用できる予想項目は多岐にわたり、この組み合わせによって、様々な予想理論を作成することができます。しかし、新たに理論を作成する場合、選択した予想項目の種類やウエイトの調整割合によっては、その予想結果があまり芳しくないケースも考えられます。そこで、最初は既にある予想理論にアレンジを加えて利用してみるのもひとつの方法です。例えば「予想」-「ユーザー理論の設定」画面を開き、「競馬道ベーシック理論」を選択した状態で「複製」をクリックすると「コピー〜競馬道ベーシック理論」というものが作成されます。これを選択して「編集」をクリックすれば、作成した「コピー〜競馬道ベーシック理論」の内容が表示され、各項目の調整ができるようになります。



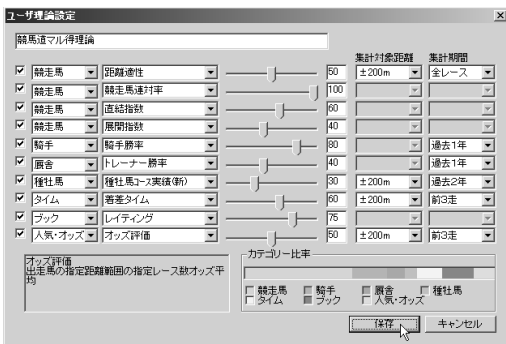
5 次に、選択した項目の[集計対象距離]と[集計期間]を設定します。あまり対象距離や期間を広げ過ぎてもデータの信頼性が損なわれますし、狭すぎると該当する条件に出走(騎乗)した経験が少ない場合などはデータ不足になりますので注意が必要です。

なお、この[集計対象距離]や[集計期間]は、選択した予想項目によっては入力する必要がないものもあります。



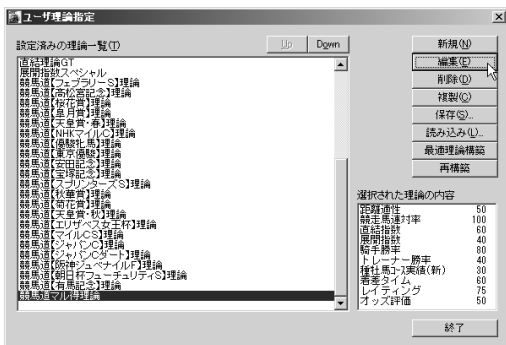
6 ここまでと同様に、2つ目以降の予想項目についても設定していきます。画面右下には、設定された予想項目の比率が棒グラフで表示されますので参考にしてください。予想項目は最大10項目となっており、1つ以上設定してあれば理論として使用可能になります。

必要な項目すべての設定が終了したら、[保存]をクリックして、作成したユーザ理論を保存します。



7 予想理論の作成が終了したら、設定済みの理論一覧に、作成した新しい理論が加わっていることを確認してください。理論名をマウスでクリックして選択すると、画面の下に選択した理論の内容が表示されます。

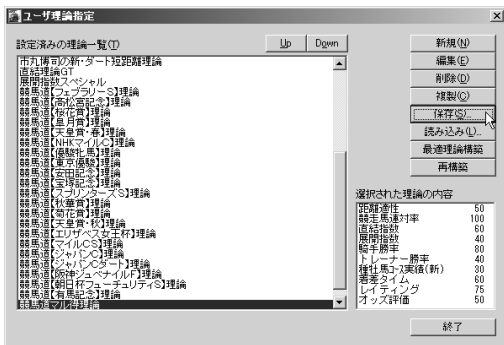
この状態で[編集]をクリックすると、作成した理論の内容を修正できます。また、不要になった理論は[削除]をクリックすると削除され、[Up] [Down] ボタンをクリックすれば、理論の表示順を入れ替えられます。



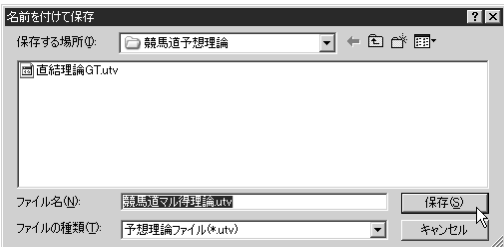
予想理論ファイルの保存

1 競馬道GT3で作成した予想理論は、ファイルとして保存して、メールで他のGT3ユーザに渡すこともできます。

「ユーザ理論指定」画面(前ページ手順⑦)で保存したい理論を選択し、[保存]をクリックします。



2 右のような画面が表示されますので、ファイルの保存先を指定すればファイルへの保存は完了です。逆に予想理論ファイルを読み込む際は、「ユーザ理論指定」画面で[読み込み]をクリックします。



※作成した予想理論を移動させる場合は、[ユーザ理論指定]の[Up][Down]を使用してください。

データの引き継ぎと
インストール

予想してみよう

予想理論を作ろう

的中率・回収率を
確かめよう

対応機能について

検索機能を活用しよう



「回収率計算」で予想理論を検証する

作成した予想理論は、45ページで紹介した[一括予想]での予想にも利用することができます。しかし、作成した予想理論がどの程度の精度を持っているのか、あるいはどんなレースに向いた理論なのかを判別するためには、少々手間がかかります。そのため、競馬道GT3には予想理論を検証する「回収率計算」機能が搭載されています。詳しくは72ページ以降で解説しますが、この機能を使えば過去に行なわれたレースの結果と作成した予想理論の予想を照らし合わせ、的中率や回収率が計算される他、的中レースの一覧も表示されます。理論を実際に利用する前に、この機能で検証しておくといいでしょ

回収率集計			
適用理論	競馬道マル予想理論		
条件一致レース	25	全馬券購入金額	1万円
的中レース	7	的中馬券払戻金額	1750430円
*馬券は一点100円計算		的中馬券最大配当	3540円
日付	2003年01月01日 ~ 2004年12月31日		
レース名	競馬場	馬場	芝
クラス	G1	コース	内外
年節		距離	1600m ~ 5000m
別定			展開
レース			出走順

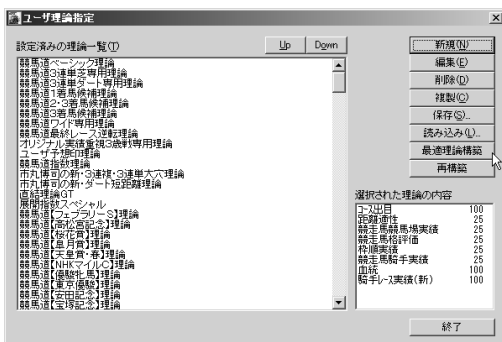
予想理論を自動作成する

競馬道GT3では、過去のデータをもとに予想理論を自動的に作成することが可能です。データを集計するレースを設定し、目標とする的中率、回収率を設定するだけで、簡単に最適な予想理論を作成できます。

最適理論の構築

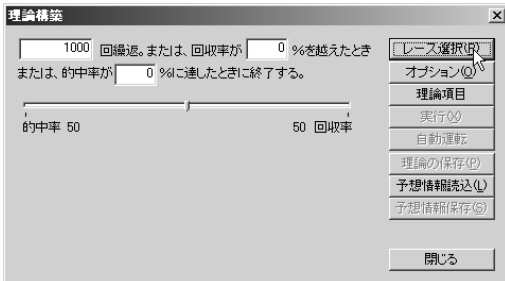
1 メインメニューの[予想]から[ユーザ理論の設定]を選び、[ユーザ理論指定]のウィンドウを表示します。ここで[最適理論構築]をクリックしてください。

[ユーザ理論指定]のウィンドウはツールバーにあるアイコンをクリックしても表示することができます。



2 [理論構築]ウィンドウが表示されます。ここでは、まず理論の構築に利用するレースを選択します。最適予想理論の自動構築では、ここで選択したレースに的中率や回収率が規定の数値以上になるかどうかを判定しながら予想理論を作成します。

レースの選択は、画面右上の[レース選択]ボタンをクリックして行ないます。



step3
予想理論を作ろう

3 レース選択は[日時・競馬場][開催][重賞]の3つのカテゴリ検索で、何レースでも選ぶことができます。[距離・馬場][年齢・クラス][配当][ペース・馬場状態]の各項目は、チェックボックスにチェックを入れた上で[詳細]ボタンをクリックして条件を設定してください。1つ、あるいは全部のタブで条件を設定し、それぞれのタブで[検索]をクリックすれば、条件に該当するレースが[結果]の欄に追加されます。日時、競馬場、開催ではレース名検索(テキストボックス)も可能です。「神無月S」などのレース名を入れると特別レースなどが検索できます。「神無月」など短い語句で検索したほうがヒット率は高くなります。

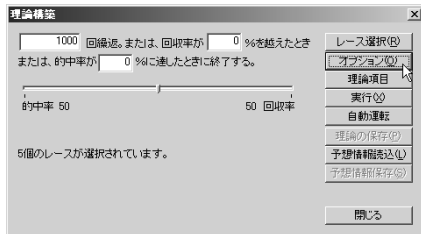


4 ここでは、天皇賞(春)を例にして最適予想理論を構築してみます。[重賞]タブの中でG Iの天皇賞(春)を検索した画面です。インストール時に「最大」または「標準」を選択した場合は95年以降の10レースが表示されますが、ここでは仮に、過去5年分のデータで理論を構築することにします。不要なレースは[削除]で削除してください。レースの選択が終了したら、[適用]をクリックします。

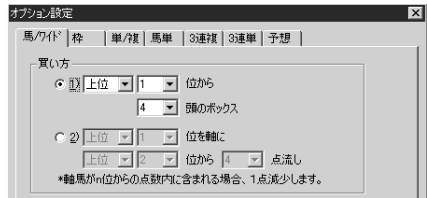


5 [適用]をクリックすると、[理論構築]ウィンドウに戻ります。ウィンドウ下部に、適用したレース数が表示されますので確認してください。

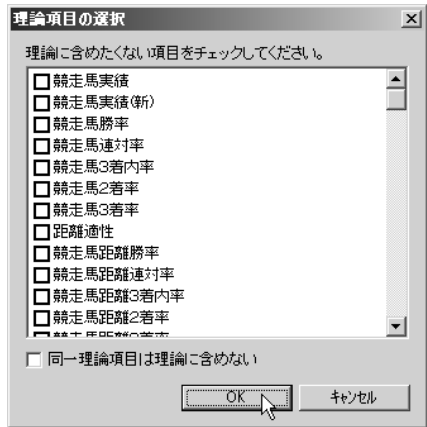
続いて[オプション]をクリックします。



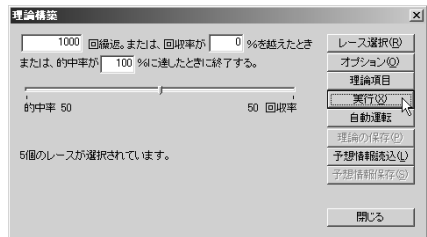
6 [オプション設定]では、最適予想理論を構築する際の、的中率や回収率の計算に利用する買い目の数や馬券の種類を設定します。まず[予想]タブで馬券の種類を選択し、続いて馬券種別のタブ([馬/ワイド][枠][単/複][馬単][3連複][3連単])で、買い方を決定します。



7 ⑥で[OK]をクリックして[理論構築]ウィンドウに戻り、続いて[理論項目]をクリックします。ここでは、最適予想理論の構築に用いない予想項目をチェックします。また「同一理論項目は理論に含めない」をチェックすると、10個の予想項目が重複しない理論を作成できます。



8 理論作成の条件を設定します。自動作成された理論的中率や回収率が目標に達しなかった場合は、繰り返して複数の理論が作成され、目標を超える理論が作成できた時点で自動作成は終了します。目標を超えなかった場合は、指定された回数で終了します。なお、回収率を0%に設定すると、回収率は終了条件から除外されます。繰り返しの回数や的中率に0を設定した場合も同様です。

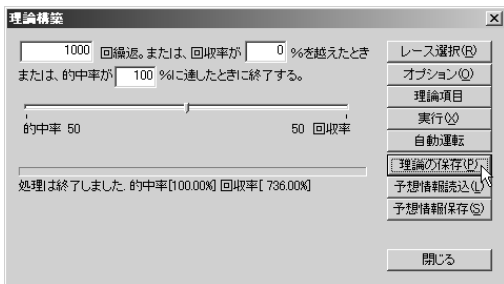


設定が終了したら、[実行]ボタンをクリックしてください。最適理論の自動作成が開始されます。

※注意 繰り返しとは、理論構築の計算を繰り返すことです。回数を例えば50回に設定すると、短い時間で理論を構築しますが、そのかわり、希望の理論を作れない可能性があります。一方、1000回に設定すると、理論構築に長い時間がかかりますが、それだけ希望に沿った「いい」予想理論ができる可能性が高いのです。

step3
予想理論を作ろう

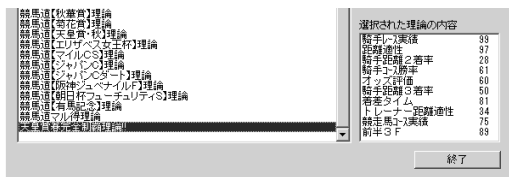
9 最適予想理論の作成中は、ウインドウ下部に進行状況とインジケータが表示されます。インジケータが消え、「処理は終了しました。」と表示されたら理論の作成は終了です。作成した理論の的中率、回収率が表示されます。[理論の保存]をクリックして作成した理論を保存します。



10 [理論の保存] ボタンをクリックすると、理論の名称の入力を求められますので、わかりやすい名称をつけて保存してください。



11 保存した理論は[ユーザ理論指定]の中の、[設定済みの理論一覧]に追加されます。これで、作成した理論を予想に活用できるようになります。



データの引き継ぎとインストール

予想してみよう

予想理論を作ろう

的中率・回収率を確かめよう

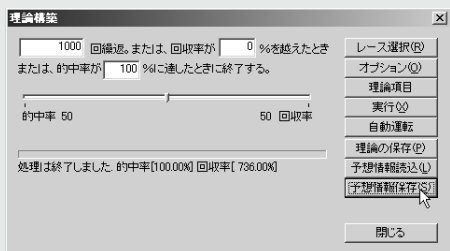
IPAT 対応機能について

検索機能を活用しよう



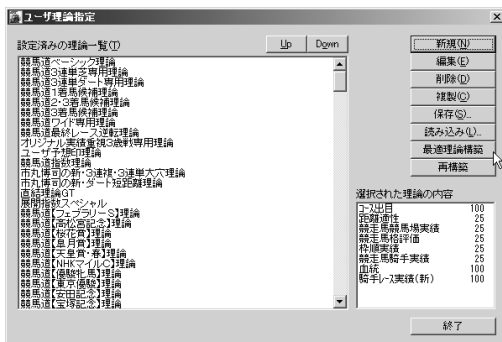
予想情報を保存する

一度ある条件を設定して最適予想理論を作成すると[予想情報保存]のボタンがアクティブになります。この[予想情報保存] ボタンは、理論構築の際に利用した計算結果をファイルに保存するために利用します。ここで保存しておいたファイルを読み込めば、同一計算のムダを省くことが可能です。計算が終了した時点で[予想情報保存]をクリックし、ファイルの保存先とファイル名を指定すれば計算結果が保存されます。再び同じ条件で計算をするときは、この画面で[予想情報読み込み]をクリックします。読み込むファイルを指定するウインドウが開きますので、ここで先に保存したファイルを指定すれば読み込みは完了です。なお、競馬道Proシリーズ、GT・GT2で作成した予想情報を読み込むことはできません。



最適理論の構築を自動運転(同じ条件で理論を複数作成する)

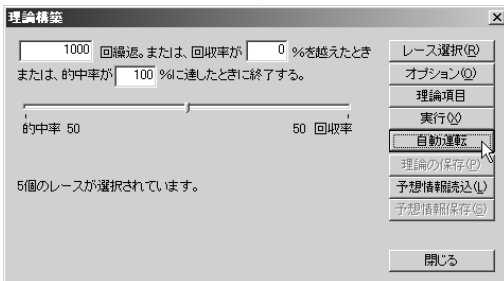
1 最適理論の構築は、自動で複数回行なうことも可能です。自動運転を行なえば、同じ条件設定から複数の理論を作成し、ユーザがその中から適切な理論を選ぶことができるようになります。自動運転の手順は、途中までは予想理論の自動作成で説明したものと同様です。メインメニューの[予想]から[ユーザ理論の設定]で、[ユーザ理論指定]ウィンドウを表示し、ここで[最適理論構築]ボタンをクリックします。



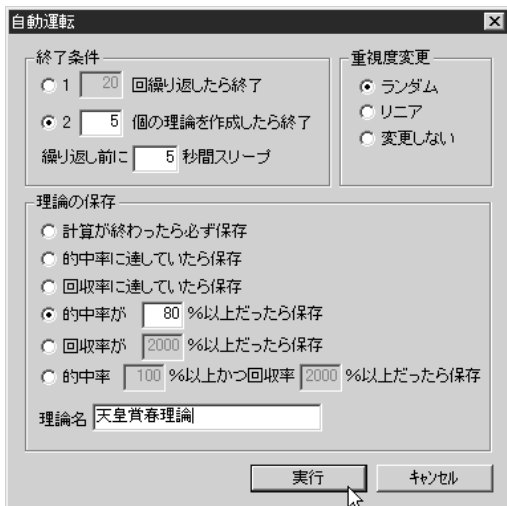
2 [理論構築]ウィンドウが表示されたら、予想理論の自動作成のときと同様に、理論の構築に利用するレースを選択します。ここでは、前ページまでと同様に天皇賞春の過去5年を対象にしていますが、東京芝1600メートルの全レースや、3歳以上のG I戦を全て、といった選び方もできます。レースの選択が完了したら[理論項目]で理論作成に使用しない項目を設定します。



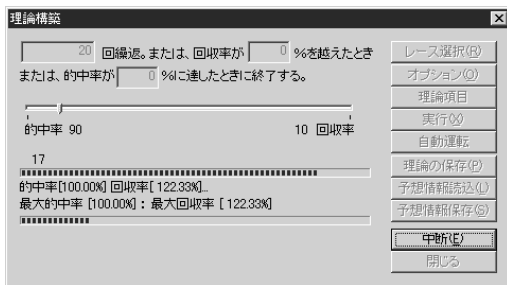
3 [重視度]は、自動運転中に変更する設定(ランダム)にする場合(次ページ手順④)は、ここでは変更しなくて構いません。自動運転中の重視度を固定する場合のみ、ここで重視度を設定してください。すべて終了したら[自動運転]ボタンをクリックします。



4 自動運転の設定ウィンドウです。終了条件や重視度、理論保存の条件等を設定します。終了条件にある「繰り返し前にn秒間スリープ」の値は、同じような理論がいくつも作成されてしまう場合に変更してください。重視度は「ランダム」に設定するとランダムに変更され、「リニア」では比率を一定の割合で変化させます。「変更しない」の場合は、前ページの手順③で指定した値になります。設定が終了したら「実行」ボタンをクリックしてください。



5 「自動運転」のウィンドウが閉じ、最適理論構築の自動運転が開始されます。下段のインジケータが右端まで到達したら、自動運転は終了です。手順④の設定に該当する条件の予想理論が、自動的に保存されます。



6 「自動運転で作成された予想理論です。理論の名前は、手順④で理論名に入力した文字に、番号、的中率、回収率を加えたものになります。画面で選択されている「天皇賞春理論1 (100 - 122)」は手順④で入力した「天皇賞春理論」の1番目で、的中率が100%、回収率が122%であることを示しています。

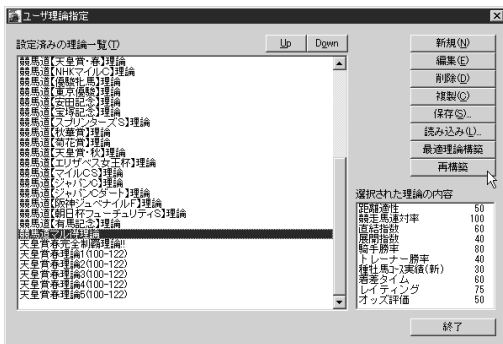
ここで作成した予想理論は、他の理論同様に編集や複製が可能です。作成された理論を比較して、適切と思われるものを利用するといいでしょう。



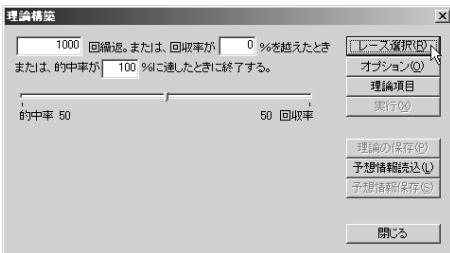
予想理論を作り直す(再構築)

1 理論の再構築とは、既に作成されている予想理論に、最新のレース結果を反映させて、理論を作り直すことです。ここでは先に手動で作成した[競馬道マル得理論]を再構築してみます。

メインメニューの[予想]から[ユーザー理論の設定]を選択します。[ユーザー理論指定]ウィンドウが表示されますので、再構築したい理論を選択して[再構築]ボタンをクリックします。再構築後は、新たに作成した理論がもともとの理論に上書きされますので、必要に応じて[複製]しておくといでしょう(→次ページ、アドバイス参照)。



2 64ページから解説している「最適理論の構築」と同様に、理論構築の際に的中率、回収率を計算するレースを指定します。[レース選択]ボタンをクリックしてください。

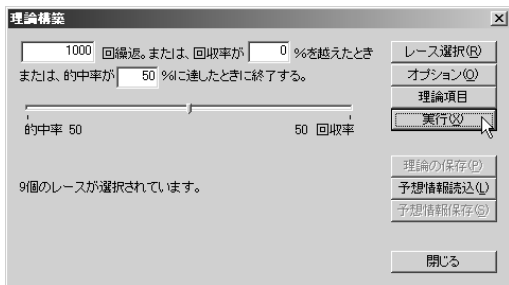


3 [レース群の選択]ウィンドウが表示されます。ここで選択したレース条件に合わせて、もとの理論項目を使った新しい理論を再構築します。

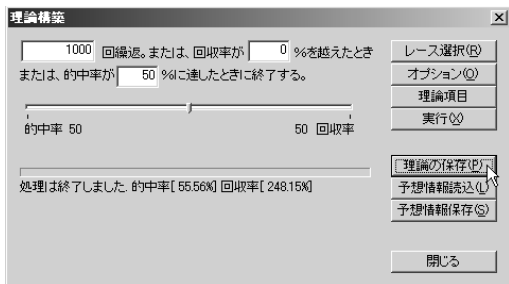


4 レースの選択が終了したら、的中率、回収率など理論作成の条件を設定し、[実行]をクリックします。

なお、再構築では元になる理論に採用されている予想項目のみを利用します。元の理論にない予想項目も再構築に利用する場合は、[理論項目] ボタンをクリックして、利用したい予想項目のチェックを外してください。



5 理論の作成が終了したら、[理論の保存]をクリックして、再構築した理論を保存してください。[保存されました。]という確認のダイアログが表示されれば再構築は終了です。[閉じる]をクリックして、[理論構築]ウインドウを閉じます。



※10項目以下の理論項目で作成された予想理論を再構築した場合でも10項目を利用した予想理論が構築されます。これは最速理論構築も同様です。



コピーを利用して再構築する

理論の再構築を実行すると、もともなかった理論は、新たに作成された理論で上書きされます。もとの理論を保存しておきたい場合は、[ユーザ理論指定]のウインドウの[設定済みの理論一覧]ボックスで保存したい理論を選択し、[複製]ボタンをクリックします。[コピー～○○○]という理論が作成されますので、そのコピーを利用して再構築を実行してください。

